

教科(科目)	音楽	総時数	35時間	学年(コース)	3学年
使用教科書	教育芸術社『中学生の音楽2・3下』、教育芸術社『中学生の器楽』				
副教材等	新学社『音楽の基本ワーク2・3年下』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル(地域的・地球的)な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習の目標

<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。現及び鑑賞の幅広い活動をとおして、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。</p>

3 指導の重点

<p>① 仲間と一つの音楽を作り上げる活動をとおして、協調性を育てます。</p> <p>② 様々な作品に触れることで音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てます。</p> <p>③ 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てます。</p> <p>④ 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てます。</p>

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り込む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じたうえで、解釈したり価値を考えたりすることが出来る。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じたうえで、ふさわしい音楽表現を工夫し思いや意図をもって表現することが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心をもって、主体的・協働的に音楽の課題に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り込む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業の取組(授業態度、忘れ物) ・授業内での小テスト ・実技テスト ・成果発表 ・提出物の内容 などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業の取組(授業態度、忘れ物) ・授業内での小テスト ・実技テスト ・成果発表 ・提出物の内容 などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業の取組(授業態度、忘れ物) ・授業内での小テスト ・実技テスト ・成果発表 ・提出物の内容 などから、総合的に評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとめりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
4	発声基礎	校歌	歌唱を行う上で大切な発声の基礎を学ぶ。	1	
	楽典	音楽の約束	音の読み書きを体験しながら学ぶ	2	小テスト
5	歌唱(1)	『花』	情景を思い浮かべながら、言葉を大切にしながら歌う。	3	実技テスト
5・6	鑑賞(1)	『ブルタバ (モルダウ)』	曲が生まれた背景を理解して作曲者の思いを感じ取る。	2	感想レポート
	歌唱(2)	『花の街』	詩や曲の背景を理解し、そこにこめられた思いを生かして歌う。	2	実技テスト
7	器楽(1)	『きらきら星』『威风堂々』	高音域やシャープ・フラットが付く楽曲を演奏する。	2	実技テスト
7 ～ 10	歌唱(3)	合唱自由曲	音楽発表会に向けて、混声3部または4部合唱に取り組む。	7	発表 実技テスト 感想レポート
10	創作	『My-Melody』 『Let's-Create』	音楽の三要素である、「リズム」「メロディー」「ハーモニー」に親しむ。	2	発表

月	単元名	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
11	鑑賞 実践	『能』敦盛	日本の伝統的な歌舞劇である、「能」について知る。実践する。	2	感想レポート
12	器楽(2)	『木かげの思い出』『ふるさと』	高音域やシャープ・フラットの運指をマスターし、共演者の音を聴きながら演奏する。	3	実技テスト
1	合奏	曲目未定	様々な楽器を使いアンサンブルを体験する。	2	発表
	鑑賞(3)	『ボレロ』	オーケストラの楽器の音色（おんしょく）や、組み合わせによる響きの特徴を知ろう。	2	感想レポート
2	歌唱(4)	曲目未定	情景を思い浮かべ、表情豊かに歌う。	2	実技テスト
	鑑賞(4)	耳で辿る音楽史	音源やピアノを鑑賞する	1	小テスト
3	歌唱(5)	『君が代』『校歌』	卒業式、入学式に向けて式歌を練習する。	2	

計 35 時間(50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・鑑賞の際に、レポートの作成を課します。
- ・授業内で小テストを実施します。

8 担当者からの一言

歌や楽器を演奏する楽しさ、難しさを感じるとともに、他人と共に一つの音楽を作り上げる活動をとおして、より他人の気持ちがわかる人になってほしいと思います。

また、数百年前に作曲され、今日でも「名作」とされる作品の魅力音楽の授業をとおして感じてほしいと思います。

(担当：品田)